

LL \_\_\_\_\_  
LLLLLL■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L 産学連携学会メールニュース  
LLLLLL■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L \_\_\_\_\_  
L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L J-SIP Mail  
L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L \_\_\_\_\_  
L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L■L 発行：産学連携学会（編集 WG）  
LL 第 897 号 <2018. 3. 19>

当メールニュースではイベントのお知らせや公募情報等、  
産学連携に関する情報をお流しいたします。  
会員の皆様への情報の配信をご希望の方は、[news@j-sip.org](mailto:news@j-sip.org)  
あるいは産学連携学会事務局（[j-sangaku@j-sip.org](mailto:j-sangaku@j-sip.org)）までお寄せください。  
バックナンバー：[http://j-sip.org/mail\\_news.htm](http://j-sip.org/mail_news.htm)

[[[[ ヘッドライン ]]]]

---

◇「第 11 回 大阪大学共同研究講座シンポジウム～SDGs に向けた産学連携～」

---

大阪大学は、「社会変革に貢献する世界屈指のイノベーティブな大学」を将来像に掲げ、不安定、不確定、複雑、曖昧な現代社会にあって、社会の多様な担い手とともにイノベーションの可能性を探ることで、社会の持続的成長への貢献を目指しています。この概念こそ「共創」であり広く世界に目を転じると、国連のすすめる「持続可能な開発目標／SDGs（Sustainable Development Goals）」の理念にも繋がります。

工学研究科は、産学連携のフロントランナーとして、2006 年より「Industry on Campus」の標語の下、新しい産学連携モデルである共同研究講座制度を開始しました。本制度は、これまで個々の教員で行われてきた共同研究の在り方を大きく変え、2011 年から導入された協働研究所とともに、多くの成果を産み出してきています。

今回のシンポジウムでは、このような企業のニーズに基づく共同研究の仕組み、すなわち「企業提案型の組織連携」の成果について取組みの具体例から検証します。また、本制度を持続可能に発展させていくための課題、目標

設定、新たな仕掛けなどについて議論し、価値創出に向けた実効性のある本格的な産学連携推進について意見交流を深め、全国の産学連携関係者へと発信します。

【日時】平成30年3月28日(水) 13:30~17:30(予定)

【主催】大阪大学大学院工学研究科

【協力】大阪大学共創機構産学共創本部、大阪大学大学院医学系研究科(予定)

【場所】大阪大学 中之島センター 10F 佐治敬三メモリアルホール

【プログラム(予定)】

13:30-13:40 開会挨拶 田中敏宏 大阪大学大学院工学研究科長 教授

13:40-14:10 講演Ⅰ 松本 毅 ナインシグマアジアパシフィック(株)  
ヴァイスプレジデント

14:10-14:40 講演Ⅱ 中澤慶久 Hitz 協働研究所 所長

14:40-15:10 講演Ⅲ 藤田喜久雄 工学研究科 機械工学専攻 教授  
超域イノベーション博士課程プログラム  
プログラムコーディネーター

15:10-15:30 休憩

15:30-16:30 「持続可能な価値創出に向けた産学連携」

～共同研究講座制度のSDGs～

<話題提供>

- ・岩谷敏昭 大阪大学知的財産センター 特任教授  
智適塾 主幹
- ・徳増有治 大阪大学大学院医学系研究科  
クロスイノベーションイニシアティブ  
特任教授
- ・浅子佳延 株式会社日本触媒  
チーフテクノロジーマネージャー  
大阪大学大学院工学研究科  
産学連携推進教員(教授)

16:30-17:30 パネルディスカッション

17:30-17:35 閉会挨拶 田中敏嗣 大阪大学大学院工学研究科  
社会連携室長 教授

17:35- 情報交換会 大阪大学中之島センター9F 交流サロン

詳細URL

<http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/cgi/event.cgi#1520319246>

---

以上